

令和5年度第3回国立市保健センター運営審議会 記録（要約）

日 時	令和6年2月21日（水） 午後1時10分から午後2時00分まで
場 所	国立市保健センター 3階 会議室
出席委員	6名 行定委員、高柳委員、辛島委員、小鷹委員 安江委員、関田委員
欠席委員	3名 佐藤委員、下平委員、山科委員
傍 聴	0名
事 務 局	8名 葛原部長、橋本室長、前田課長、斎藤係長、増田主査、 藤原主査、安藤主査、坂本主任
議 題	(1) 令和6年度保健センター事業・子育て支援課事業予算（案） について (2) その他

令和5年第3回 国立市保健センター運営審議会

【行定会長】定刻になりました。本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。出席委員が過半数に達しておりますので、令和5年度第3回国立市保健センター運営審議会を開催いたします。なお、佐藤副会長、下平委員、山科委員からは本日欠席の連絡をいただいております。

また、本日は1時間程度を目安に審議を進めいきたいと考えておりますので、委員の皆様おかれましては、議事の円滑な運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

はじめに、事務局より資料の確認をお願いいたします。

【齋藤係長】

配布資料確認

【行定会長】

それでは議事を進めてまいります。

- (1) 令和6年度保健センター事業・子育て支援課事業予算について
事務局より説明願います。

【齋藤係長】

資料に基づき説明

【藤原主査】

資料に基づき説明

【行定会長】

説明が終わりました。コロナが5類になって大分予算や出費のほうが変わってきたという事かと思いますが、ただ今の説明について質問のある方どうぞ質問なさってください。高齢者の肺炎球菌ワクチンの令和6年度の歳入は0ですか。

【齋藤係長】歳入の予算を0にしているのは東京都の補助金が元々令和5年度までという通知で出されていたもので、6年度はないものと考えまして歳入上は0にしてございます。国のほうで65歳の方については定期接種を実施するという事で規定されていますので、その分の歳出は確保しています。

【関田委員】子ども保健・発達支援系の事業の方で歯科衛生手数料(1) 歯科処理料とは具体的には何をするのでしょうか。

【藤原主査】歯科処理料というのが、虫歯を予防するフッ素塗布費用になりまして、お一人1回500円のご負担で行っております。500円×人数分で65千円を出しております。

【関田委員】わかりました。ありがとうございます。

【行定会長】他にどうでしょう。

【小鷹委員】 全体的に見させてもらおうと、保健センター事業の方の一般会計の方では歳出が 380 千万から 280 千万に約 100 千万減っているのが読めますし、逆に歳入の方が、132 千万から 70 千万に減っていると言うことで、コロナ事業の入り繰りがあってのことだと思いたいますが、収支という形で見ると令和 5 年度が 250 千万くらいと支出の多い分、令和 6 年度が 210 千万という事で若干収支の赤字が減っているというふうに読めるんですけど、相対的に見て事業規模としては大体令和 5 年度令和 6 年度同じくらいの事業規模とみてよろしいですか？

【齋藤係長】 先ほどの説明で申し上げた用に今後補正が確実に見込まれる事業等もございますので中々比較するのが難しいところもあるんですが、今委員がおっしゃって下さったように、年度間の事業規模としましてはそれほど大きく変わっているわけではないと認識はしております。後は補助金等の歳入に関しましては、コロナ過で特例的に出されていたものもございますし、あとは今後東京都が政策的に出してくることも考えられますのでその辺は柔軟に対応して一般財源を減らしてまいりたいと考えております。大きい要素で言いますと、コロナの定期接種につきましては秋以降の事業実施となる予定でございますので、9 月あたりに大規模な補正を組む可能性もございます。その際は、これまで国の方が全額負担する制度でございましたけど、一般財源等が見込まれる場合はなるべく低減し市民の負担が少なくなるように事業設計をして参りたいと考えています。

【小鷹委員】 もう 1 件。勸奨費用、例えばがん検診の勸奨費用削減というお話がありましたが、この令和 6 年度からは郵便料金の値上げというのが結構大きく響いてくるんじゃないかと思うんですけど、その辺はどんなふうに見込んでいらっしゃいますか。

【齋藤係長】 ご指摘の通り郵便料金の値上げの情報につきましてはこれも秋から思っておりますが、当初予算上どう影響するのかは見込んでおりません。

ですので、ご指摘の通り必要に応じてその部分についても補正の対応が必要になってくる可能性もありますし、あるいは各事業配布物等見直す中で、値上げ前に前倒して配ることができるものはないか、今から内部で検討しているところでございます。

【高柳委員】2040年には若い人1.9人で一人を支えるってというような情報を見たりするんですが、健康に関してもこちら戦略室なので新たな戦略というか、少ない予算の中とは思いますが、事業計画の中でそういうのを見ながら予算を立ててらっしゃるのか、戦略としては何かあるのか伺いたいです。

【橋本課長】健康な街づくりを考えるうえで、今ご指摘ありましたようにこれからどんどん高齢化し、子供は少なくなっていく、そういう人口状態を考える中でもなるべく健康に過ごしていただきたい、というようところで考えております。保健センターでは健康増進計画というものを作っておりまして、こちらの方で2つ課題をもって5年取り組んできたものです。1つはがん対策でがん検診の受診率を上げていこうというところと、もう1つはCKD慢性腎臓病の対策をしていかなければいけない。というのは国民健康保険の医療費でやはり一番かかっているのが透析です。高齢者が増えていくというところでは、腎臓が悪くなられて透析を受ける方も増えるだろうというところで、早めに手を打っていかなければいけません。そこで他市に先駆けて、医師会の先生方にもご協力をいただいておりますが、微量アルブミン尿という腎臓の異常を早期で見つけられるような検査項目を国立独自で項目としてプラスさせていただいています。

また、早めに手だてをしていくという事で個別の指導や集団での健康教育もやっているというところでは、現段階で見た形では5年間の中で透析されている人数は実際10人減っているというように見られます。どうしてなのかという事はこれから分析していかなければいけない部分ですが、その一助にも先ほど言いました、まずは健診で早期発見、手だてをしていくというところがう

まくいっているのかなというように、感覚的なものですが、思っているところ
でございます。また、地域包括ケアの方とも連携したりとか、後期高齢医療係
とも連携して一体的なサポートいうところでは取り組んでいくところござい
まして、そちらの方も今後連携してやっていきたいと思えます。

【高柳委員】はいわかりました。

【行定会長】このことに関しては、小児と高齢者は両輪ですので、子どもを増
やして高齢者はともかく健康ですよと両輪で動かないといけない問題だと思
います。なかなか一筋縄ではいかないこともあるとは思いますが、透析の数が 10
人も減ったとは初めて聞きましたけど、我々がやっている健診も効果が出てた
んだと思いました。

【関田委員】確か昨年 7 月の会の時に昨年 4 月に子育ての発達支援に関し
ての新しい冊子ができましたということでお配り頂いて、今年も新しいのが出
たのかなと思ってみましたら、今年 11 月にも出ていまして、それと見比べると
事業所が増えてきている。という事はそれだけその需要が増えているのかな
と思うと、国立もソーシャルインクルージョンですとか色々な取り組みをして
いる市であって、かなり発達支援に関係するお子さんが増えているのか
と思えますが、どれくらい増えてきているのでしょうか。

【安藤主査】ご質問ありがとうございます。今の、国立発達サポートブックで
すが、私の方で作っているんですが、令和 6 年 4 月に改訂予定ですが、ご覧に
なっただきありがとうございます。おっしゃる通り、未就学児を対象とし
た児童発達支援事業所の方もそうですし、あとは就学後の、小学生から高校生
までの放課後デイサービス事業所、どちらも国立でここ数年にわたり増えてき
ている状態です。それらの事業所を使うためには、社会福祉の制度なもので受
給者証明書を発行される必要があるんですが、その手続きはここではなくて、
しょうがいしゃ支援課の相談支援係というところでやっています。なので正確
な統計というものはそちらの係で持っている状況です。そのデータを毎年 1 回

ずつ連絡協議会で実績なども情報共有しあっているんですが、この間も会議がありました、やはり年々受給者証が発行される数がどんどん増えている。ここ10年くらい毎年毎年右肩上がりが増えている状況です。特に発達障害をお持ちの未就学児のお子様、就学後のお子様、事業所を使いたいという方が毎年増えている状況にはあります。私たちも年に1回事業所フェアというのをやっていて、今20か所ちょっとある国立市内にある事業所が一同に介して、こういう事業所はこういうことをやっていますよ、という活動周知をやっています。今年度も11月に矢川プラスで行いしましたが、そういうこともありまして事業所療育って何？事業所って何？ということが段々周知されてきました。あとはメディアで発達障害とか、それこそ療育とかいろんなことが周知されてきているという事がありまして、事業所自体利用されたいという方が結構増えてきているという事もあります。中々すぐには入れないとか何カ月か待ったりというような状況が発生しているのも事実ではあります。

【関田委員】ありがとうございます。人数が増えている分そこに向けた支援をきちっとしていただけるように望みたいと思います。

【高柳委員】それに関連してなんですが、4月から合理的配慮が義務化になりますよね。それに関する研修とか事業所の中でやっているとかあるんですか。全部は合理的配慮は受け入れられないかもとは思いますが、それはどんな風にやっていけますか。

【安藤主査】合理的配慮というのは事業所だけではなくて、こういう役所ですとか、学校ですとか幼稚園、保育園、そういうところで配慮を行わなければならないという事になっています。もちろん事業所は療育をやっている先端のところですのでその配慮というのは元々療育をやっているところなので、配慮を行いながらお子様の発達と保護者の方の要望に従って療養制度の場合に敏感に対応してきているところになると思います。後は学校とかそういうところで発達の課題をお持ちのまま学校に行かれる方がかなり沢山いらっしゃいまして、

全国的にもそうですし、国立市でも特別支援教育とか発達に課題のあるお子様を支援する体制がかなり充実している状況です。それで学校では合理的配慮に関する専門家の配置が始まっていて、各校に1名ずつ必ず配置することになっておりまして国立市の学校にも配置されている状況です。色々合理的配慮といっても本当に発達障害もインフルエンザで熱が40度出たとか普通のわけとは違って、一人一人発達の課題が色々異なってきますので一口に合理的配慮といっても中々、こうすれば全ての人たちが上手くいくというのは中々ないというか難しいというところでもあります。学校の中でも専門家を置いて個々のお子様あとは保護者の状況ですとかご希望によって様々に対応している、そんな工夫をしてきているかなと私どもも認識しております。

【高柳委員】そのプラスワンの人っていうのは教員ですか。それとも障害関係の方ですか。

【安藤主査】学校での任用に関しては私どもの担当ではないので具体的にどのような資格をお持ちでどのような方、例えばどのような研修を受けたか、詳細については知らないところではあるんですが、もちろんそれなりの方を配置していることになっているかなとは思いますが。

【行定会長】他に何かありますか。無いようでしたら、今日の議題は以上として後は事務局からお願いします。

【葛原部長】本日も活発にご審議いただきましてありがとうございます。実は保健センター運営審議会の委員の皆様が2年という事で今年度の4月末をもちまして任期が満了となります。この後3月4月に特別にご審議いただくことがなければ本日の運営審議会が最後となります。この2年間、昨年度はコロナ過だったという事もあって感染対策をとりながら皆様方にはご迷惑をおかけしての開催だったと思いますけれども昨年度3回、今年度今日入れて3回ご審議いただきまして沢山ご意見いただきました。本当に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。この運営審議会以外にも皆様方におきましては市

の事業にかかわっていただいたりという事でお力沿いをいただいたことにつきましてもお礼申し上げます。今後ですけれども、各団体からご推薦いただいている委員の皆様が所属されている団体につきましては次期委員のご推薦という事で改めてご依頼させていただきますのでよろしくお願いいたします。今回の任期は満了となりますけれども皆様には今後もぜひとも市の衛生保健事業にご協力ご理解のほど賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。お礼申し上げます。

【行定会長】ありがとうございます。今回で最終回という事ですので毎回 1 時間前後で年 3 回非常に短い時間しか取れなかったんですけどこの場を最後という事で何かおっしゃりたい事があるのではと思いますのでもしよろしければ一人一人ご発言頂きたいと思います。

【高柳委員】お世話になりました。有効な意見が言えたかどうかというのは甚だちょっと自信がないところなんですけど、お名前が健康づくり戦略室っていう風に変更になったことは、そこは凄いなと思っています。戦略なのでこれから国立市の健康づくりをどんな風に進めていこうというそんな意欲が見えました。そのためにどんなお手伝いができるかというのをずっと考えていたんですが、大したことはできなかつたんですが、益々のご発展をお祈りしております。ありがとうございました。

【辛島委員】実践女子大学の辛島と申します。2年間お世話になりありがとうございました。今日の議事にもありましたが新型コロナの件が落ち着いてきたことによってやはり根本的な市民の皆様の健康づくりというところがより力を入れていっていただけることになってくるだろうなという風に感じながら参加をさせていただきました。引き続き色々な対策をしていただいで今後もぜひ色々な方面で皆様のお力を発揮していただければと思っております。ありがとうございました。

【関田委員】市民委員の関田です。初めて入って2年が経ちました。1年過ぎて

2年目で去年こうだったなと思い返しながらか参加しました。私は西地区の方に住んでおります。西の二小が建て替え工事でこれから綺麗になるところなのですが、先ほどのお話ですが、プラタナスというクラスの人数がどんどん増えている状態で、出来上がる時にはいっぱいになるかなと思うくらいの状況で心配しております。西地区で町地域のチラシを配っていますが、ポストに投函すると、意識の高い方、健康づくりをしよう、健康になっていこう、高齢になるまで生きていこう、元気でいようという意識が高い方たちはもう黙っていても皆さんなさるんですね。でもそうではないところへどれだけ呼びかけられるか、どれだけヒットした戦略ができるかというところがやっていただきたいところですのでぜひよろしくお願ひいたします。地域でも協力しますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

【安江委員】一市民であります安江と申します。富士見台地区に住んでおります。実は先日誕生月健診を受けてまいりましていろんな項目を受けてその中に先ほども出ました微量アルブミンがありました。ちゃんと数値を出してもらって細かく説明も受けたし、細かく自分の体の事、これからの事も注意を受けたんですが、これからも来年を目指してこの健診を頑張ってくださいね。なんて言われると凄くうれしくて得した気分なんです。そういう時にこのセンターの細かい気配りのおかげだなと思ひながらほんの2.3日前に結果を聞いて帰ってきました。これからも自分自身健康でないと皆さんのお付き合いができないから、自分が健康で皆と沢山の人の人と関わりたいと一市民として思っております。またよろしくお願ひします。

【小鷹委員】同じく市民委員の小鷹と申します北地区に住んでおります。毎回出させていだいて好き勝手なことを質問させていただいたりとかしたんですけども、皆様が作られた資料から保健センター含めて市としてどういうことをやりたいと思っているのか非常に良く分かりました。私も一市民として非常に心強い思ひがしています。2年間立って私も2年分高齢者になってきましたので、

高齢者にターゲットを当てた事業を一つ重点的にやっていただきたいなという
思いと、孫もおりますので子育て支援という方向でも是非よろしくしたいと思
います。どうもありがとうございました。

【行定会長】最後に私、行定と申します。ずっと拙い司会を務めさせていただ
きました。医師会は隣に医師会館があって保健センターとは近いんですが、近
くても実は何をやっているのか今までわからなかったんですけども、この会に
出席しまして色んな事業を多岐にわたってなされていることが分かりました。
またこの2～3年はコロナで終始していた感じがして、色んな予算が外れていっ
てコロナもやっと終わったんだなとそういうような感慨を持っております。ま
た今後新たな感染症なんていうのもあるかもしれませんが、この2～3年間の蓄
積したノウハウ生かして何とか保健センターの方々とまた乗り切っていきたい
と思いますので、今後もよろしく願いいたします。では、これをもって令和5
年度第3回国立市保健センター運営審議会を終了いたしたいと思います。皆様
ありがとうございました。